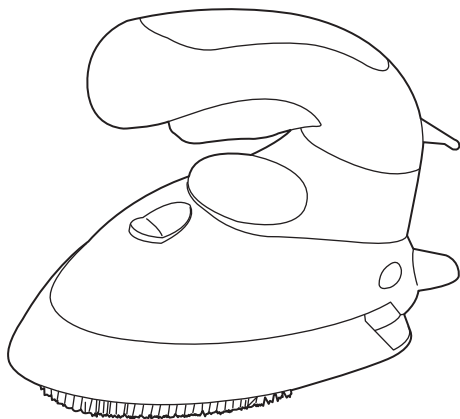
取扱説明書　保証書付

Calme　# Handy Iron
ハンディアイロン　MCE-3270

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意

警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。

※１傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、けがや火傷、感電等をさします。
※２物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。	強制	強制(必ずすること)を示します。

⚠ 警告

分解禁止

・絶対に分解･修理･改造は行わない。
　※製品の故障や思わぬけがに繋がる恐れがあります。

禁止

・子供等取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。
　※火傷や感電、思わぬけがの原因となります。
・電源コードが痛んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。
　※感電･ショート･火災の原因となります。
・電源コードや電源プラグを破損する様な事はしない。
　※感電、ショート、火災の原因となります。

強制

・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
・必ず交流100Vで使用する。
・電源プラグのほこり等は定期的にとる。
・使用中のアイロンを布地の上に放置しない。
　※焦付や布地を傷める、また、火災の原因となります。

水ぬれ禁止

・本体を水につけたり、水をかけたりしない。
　※感電･ショート･火災の原因となります。

ぬれ手禁止

・濡れた手で電源プラグの取扱はしない。
　※感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。
・子供の手の届く所に保管しない。
・たこ足配線はしない。
・使用中や使用直後はハンドル以外には触らない。
　※大変高温になり、火傷の原因となります。
・使用中は本製品の側から離れない。
・着用している衣類には使用しない。※火傷の原因となります。
・破損したら使用しない。

強制

・お手入れ･保管をする際は、必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてから行う。

プラグを抜く

・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
・電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜く。

使用上のご注意

この内容を守らないと、製品の動作に問題が生じたり、製品本体の故障に繋がります。

・連続使用時間はお守りください。
※連続使用時間は約20分間です。約20分間を超えて使用する場合は、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めた事を確認してから再度ご使用ください。
・稀にタンク内に水滴が残っている場合がありますが、これは出荷時の検品によるものです。製品の動作に問題はありません。

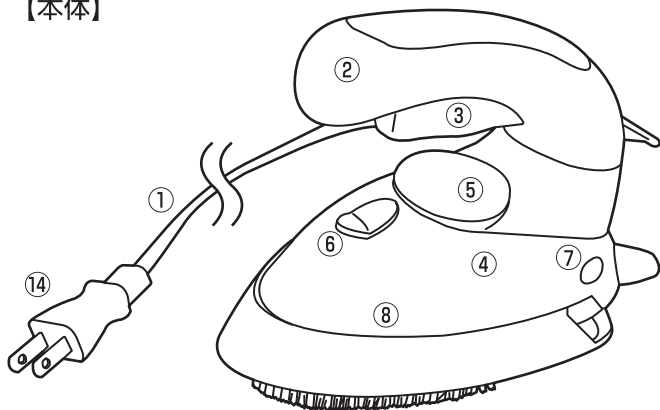
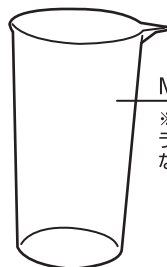
・初めてご使用になる際は、本体やスチームから臭いがすることがありますが品質上問題はありません。数回スチームを空噴きしてからご使用ください。
・かけ面の温度が設定温度に到達する前に、それよりも低い温度に温度調整ダイヤルを設定した場合、またスチームレバーを連続して操作しスチームを出すと、スチーム噴出口から湯滴や湯気が噴き出すことがありますのでご注意ください。
・側を離れる際は、必ず電源を切りコンセントを抜いて本体をスタンドの状態にしてください。
・アイロンを逆さや横にしないでください。※水漏れ、火傷の原因となり危険です。
・製品を持ち運ぶ際は、製品本体が充分に冷めていることを確認してから運んでください。
※火傷の原因になり危険です。
・アイロンにコードを巻き付けないでください。※火災･感電･ショートの原因となります。
・ブラシカバーを取り付けて使用した場合、ブラシカバー部分も高温になります。絶対に触れないでください。
・熱に弱い物（紙･ビニールクロス等）の上等で使用しないでください。
・同じ箇所に長時間アイロンや、スチームを当てないでください。
・水以外のものを、タンクの中に入れないでください。
・使用後は、十分に乾かしてから保管してください。※カビの発生、製品の劣化の原因となります。
・高温になる場所、直射日光の当たる場所への保管･放置はしないでください。
・落とす･ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないでください。
・お手入れの際にシンナー･ベンジン等の揮発性有機溶剤は使用しないでください。
※製品の変色･劣化の原因となります。
・この製品は一般家庭用です。※業務用又は他の用途でのご使用はご遠慮ください。

商品仕様

寸　　法	約W14×D9×H16.5cm(スタンド時)　　コードの長さ:約140cm		
重　　量	約550g(総重量)		
材　　質	ABS、PC、PBT、PP、PVC(非フタル酸)		
定格電圧	100V	定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	800W		
温度範囲	約80℃～210℃		
スチーム噴出量	約3ml/分		
連続使用時間	約20分間		

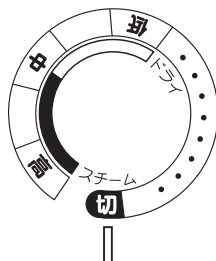
各部名称

【本体】

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　⑪　⑫　⑬　⑭

【注水カップ】

MAXライン

※1回の注水でMAXライン以上の水は入れないでください。

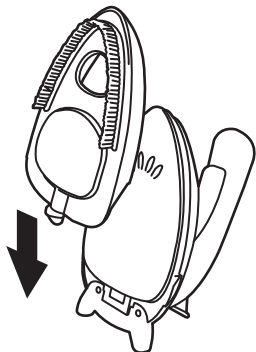
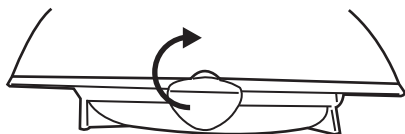
【温度調整ダイヤル】

低　中　高　ドライ　スチーム　切

目盛り合わせ位置

①コード　②ハンドル　③スチームレバー　④目盛り
⑤温度調節ダイヤル　⑥注水口　⑦ランプ　⑧タンク
⑨かけ面　⑩ブラシカバー　⑪噴出口　⑫洋服ブラシ
⑬カバーストッパー　⑭電源プラグ

■ブラシカバー装着方法■

※必ず電源プラグをコンセントから外した状態で行ってください。

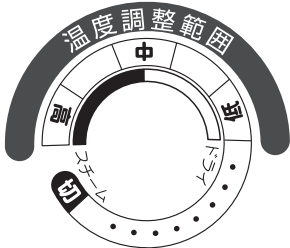
①本体とブラシカバーがぐらつかない様矢印の方向に向かってしっかりと取り付けます。

②ブラシカバーのカバーストッパーを反時計回りに回し本体とブラシカバーを固定します。

絵表示の見方例

絵表示の見方例

	指定された温度で当て布をして、アイロンをかける。		指定された温度で布地の裏からアイロンをかける。		アイロン使用不可。
その他「スチーム禁止」等の表示がある場合は、その指示に従ってください。					

絵表示の見方と温度の関係(ドライ使用時)

絵　表　示	低	中	高
布地・繊維の種類	アセテート トリアセテート ビニロン アクリル アクリル系 ポリプロピレン ポリウレタン ポリクラール ベンゾエート	絹 毛 ナイロン レーヨン ポリノジック キュプラ ポリエステル	綿 麻
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度範囲	約80℃～120℃	約140℃～160℃	約180℃～210℃
設定温度到達時間	約20秒	約40秒	約50秒

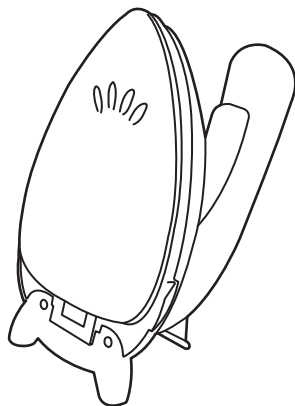
※設定温度到達時間は、本体が冷めている状態からの時間です。

※混紡の場合は、対応温度が低い繊維に温度を合わせてください。
※絵表示が無い生地には、温度調節ダイヤルを「低」に合わせてご使用ください。
※使用中にアイロンをかける手を布地の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷める原因となりますのでご注意ください。

使用中のアイロンを布地の上に放置しないでください。
※焦付や布地を傷める、また、火災の原因となります。

使用方法

①電源プラグをコンセントに差し込みます。
②温度調整ダイヤルを回すと通電しランプが点灯します。
　※使用する繊維に合わせて温度設定を行ってください。
③ランプが消えたら使用できます。

■ドライアイロンで使用する■

①温度調整ダイヤルをドライに合わせます。
②ランプが消えたらアイロンを水平にし、衣類等のシワを
　伸ばします。
※アイロンを置く時は右図のようにスタンドの状態にします。
※繊維にあった温度に合わせてください。(5P参照)
※ドライアイロンを使用する際は、タンクに水を入れる必要
　はありません。
※高温から低温に変えたい場合は、ランプが点灯した後、再
　び消灯してからご使用ください。

スタンドの状態

■スチームアイロンで使用する■

①注水カップを使い注水口からタンクへ水を注ぎます。
　本体を斜めに立てて注いでください。(図1参照)
　水の量は注水カップのMAXラインまでです。
②温度調整ダイヤルをスチームに合わせます。
③ランプが消えたらアイロンを水平にし、約2～5秒間隔で
　スチームレバーを握ります。
※注水はプラグを抜いた状態で行ってください。
※注水カップのMAXライン以上の水を入れないでください。
※かけ面を衣類から約10cm程度離し、目立たないところで
　ためしがけをしてからご使用ください。
※ウールやカシミヤ等の起毛性衣類にかけ面を近づけて使
　用すると、毛並みが乱れて変色したように見えてしまいま
　すのでご注意ください。

図1

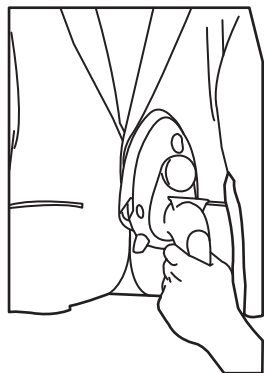
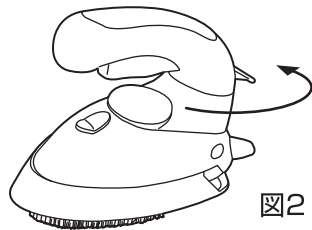
ランプが点灯している時や、2秒間隔よりも早くスチームレバーを操作すると、湯滴が出て
火傷や衣類を汚す原因となりますのでご注意ください。

■ハンドスチーマーを使用する■

※ブラシカバーを取り付けた状態でもご使用いただけます。

①注水カップを使い注水口からタンクへ水を注ぎます。
本体を斜めに立てて注いで下さい。(7Pの図1参照)
水の量は注水カップのMAXラインまでが目安です。
②本体のハンドルを回転させます。(図2参照)
③温度調整ダイヤルをスチームに合わせます。
④約2〜5秒間隔でスチームレバーを握ります。
※本体は垂直に立てた状態でご使用ください。(図3参照)
逆さや横向きでのご使用はおやめください。
※注水はプラグを抜いた状態で行ってください。
注水カップのMAXライン以上の水を入れないでください。
※かけ面を衣類から約10cm程度離し、目立たないところで
ためしがけをしてからご使用ください。
※ウールやカシミヤ等の起毛性衣類にかけ面を近づけて使用
すると、毛並みが乱れて変色したように見えてしまいますの
でご注意ください。

図2

図3

■ご使用後は■

注意

※必ずアイロンのかけ面が十分に冷めた状態で作業を行ってください。
※お手入れの際にシンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤は使用しないでください。
※クレンザーやたわし等のご使用はご遠慮ください。

ご使用後は、アイロン内部やかけ面の腐食・カビの発生を防ぐため、タンクに残った水を捨ててから保管します。
①アイロンを十分に冷まします。
②注水口のキャップを開け中の水を捨てます。
③本体についた水を拭き取ります。
④電源プラグをコンセントに差し込み、温度調整ダイヤルを高温に合わせ、約5分通電します。
⑤電源を切り、プラグをコンセントから抜き、十分に冷まします。
以上の作業を終えてから保管して下さい。

■お手入れ方法■

注意

※本体が完全に冷めた事を確認した上でお手入れを行ってください。

◎本体の汚れは、柔らかい布で乾拭きするか、硬くしぼった布で拭いてください。
◎スチーム噴出口にゴミがたまった場合は、先の細い物で取り除き、布で拭いてください。
その後ご不用な布の上で数回スチームを噴出してください。
◎スプレーのりを使用した際のかけ面の汚れは、その都度硬く絞った布で拭き取ってください。